

新年明けましておめでとうございます。本年も、昨年同様Raisersをよろしく願います。

昨年末、自宅玄関先に金属製の宅配ボックスを設置しました。それなりの大きさ、重さでボックスごと盗まれることはないのですが、ボックスによって仕組みが異なるため、施錠し忘れる配達員がけっこういるので、中身だけ盗まれる不安があり、併せて玄関先にセキュリティカメラを設置しました。

バッテリー駆動、Wi-Fi接続でケーブルを全く必要としないユニークなデバイスで、Wi-Fiは自宅の環境をそのまま使い、スマホにインストールしたアプリから各種設定や動画の閲覧、バッテリー残量の確認などができます。人物検知のセンサとアラーム機能を持ち、スマートウォッチにもアラームが届くので、自分が出先にいても、誰かが玄関先に近づくとスマートウォッチがブルッと震えて写真が表示されるので安心感があります。また、赤外線撮影もできるため、暗闇でもモノクロでくっきり写し出されます。

気になるバッテリー性能ですが、フル充電までに5時間前後かかり、屋内利用の場合はバッテリーが10%消費されるのに10日間、屋外利用では同じく10%消費で5日間かかりました。過酷な寒さの屋外環境ではバッテリー消費もより早いようですが、単純計算で50日はもち、予備のバッテリーと入れ替えて使い廻していきます。Wi-Fiがあってこそその機能のため、改めてWi-Fi環境の便利さを感じる今日この頃です。

(Y.H)

先日、初めて電動キックボードを見ました。周囲が暗くなった時間帯で人の声が近づいてきて、何かが道路端の自転車走行帯を3台で連なって走りぬけました。信号で止まったときの姿を見て、それが電動キックボードであることに気づきました。人が乗るボードにはナンバープレートが付けられており、ハンドルのところにはLEDの前照灯が付けられています。道路交通法上は原動機付自転車のはずですが、どうも違和感があります。前照灯は自転車並みの明るさで原付バイクの前照灯と比べてはるかに暗く、運転者はヘルメットを着用していません。なお、シェアサービスの電動キックボードはヘルメット着用義務がない、という特例があるそうです。信号が変わるとともに音もなくスッと走り出していきました。原付バイクほどはスピードが出ない感じです。

さて、電動アシスト付き自転車が普及して久しいのですが、最近はオフロードの原付バイクのような形をした電動アシスト付き自転車も登場しており、電動アシスト付き自転車と見分けが付きにくい形状をした電動自転車（原動機付自転車）も登場しています。さらには、通常の自転車における危険行為への取り締まり強化で赤切符（交通切符告知票）も発行され、制度・規制と現実とのギャップが大きくなり、それを運用でカバーしている状態ではないかと思えます。

とにかく、自他の安全に配慮している人には優しく、そうでない人には厳しく運用してもらいたいものです。

(I.O)

こんな時が危ない!

- 工事繁忙期よりも、終期、特に撤収作業時
- 非常に危険と思われる作業よりも、それほど危険と思われない作業時
- 同一作業が長く続くよりも、1日~2日とか半日、あるいはもっと短時間で終わる作業時
- わかりきった常識的な作業手順を守らない時
- 作業時に積極的な人が、指示以外の作業をした時
- 安全設備を取りつける段取りに取りかかる前
- 教育を十分うけているはずの職長や工事監督がルール無視の行動をした時
- 立入り禁止箇所、危険箇所を承知して、そこへ行った時

Raisers第71巻第1号(通巻第758号) 2023年1月10日発行

■編集 一般社団法人情報通信エンジニアリング協会 〒150-0033 東京都渋谷区猿楽町3-3

Tel. (03) 3464-3211代 Fax. (03) 3464-3216

■発行所 一般社団法人電気通信協会 〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-1-1 如水会ビルディング6階

Tel. (03) 3288-0608 Fax (03) 3288-0615

(本誌掲載記事の無断転載を禁じます。)